

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

1. 月1回の協議の場(精神障がい者地域移行支援部会)により、関係機関による顔の見えるネットワークができつつある。
2. 区単位の連絡会議が始まり、各区の実状と課題を共有して取り組みを検討している。
3. 長期入院患者の意向調査により精神科病院の入院患者の実態を把握でき、啓発ツール(ポスター・リーフレット)を持っている。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
地域相談支援の利用件数が増えない	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・リーフレットを活用した、地域相談支援のさらなる啓発。 ・地域相談支援の利用促進に向けた調査・検討会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院訪問による入院患者への地域相談支援の啓発に向けた検討を行った。 ・指定一般相談支援事業所に地域移行支援に関するアンケート調査を実施した。
医療機関と相談支援事業所が連携した地域移行・地域定着の支援イメージが見えづらい	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関と相談支援事業所の連携促進、地域移行に関する支援力向上のための研修及び意見交換の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援部会と合同研修にて、実践発表を行い、支援イメージを考える機会を作った。また、医療機関と相談支援事業所の意見交換を実施した。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①地域移行支援のサービス利用件数	5件	5件	熊本市第5期障がい福祉計画の目標値(5件)達成
②地域相談支援の利用		要望書の提出	サービスの利用手続きの簡素化について、障がい保健福祉課と各区福祉会と検討。また自立支援協議会にてその旨をj報告。
③連携促進・支援力向上のための研修会		開催	今年度5回開催

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。